

What's on, Kyodokodo

2011.12.21
No.51



いのちをまもる
PARTNERS
医療安全全国共同行動

CONTENTS

共同行動からのお知らせ

- 医療安全全国フォーラムの内容をHPにアップしました
- 院内改善取り組み推進の支援を希望する病院を募集します
- 第4回「輸液・シリンジポンプ医療安全プログラム」の参加者を募集します

フォーラム・セミナー等のご案内

フォーラム・セミナー等のご報告

- 平成23年度医療安全管理シンポジウム(静岡県西部地区)が開催されました

● 成功事例・参考事例を募集しています

→ <http://kyodokodo.jp/> トピックス内

● 質問・提案をお寄せください→ advice@ppscamp.net

● 標準化病院死亡比(HSMR)を算出してお知らせします

→ <http://kyodokodo.jp/hsmr.html>

お問い合わせは toHSMR@ppscamp.net

● 参加登録病院用のバナーができました！

→ [パートナーズ専用ページ/トップページ](#)

● 参加登録方法に関するQ&A→ <http://kyodokodo.jp/faq.html>

参加登録事項変更等に関するQ&A

→ [パートナーズ専用ページ/Q&A](#)

● キャンペーンポスターをご利用ください

完成版→ http://kyodokodo.jp/shiryou_koho.html

基本デザイン→ [パートナーズ専用ページ/メニュー](#)

東日本大震災により被災されたみなさまに

心よりお見舞い申し上げます

[災害時の医療安全](#) ([公開ページ/トップ](#) からご覧ください)

いよいよ今年も残りわずかとなりました。

1年間ありがとうございました。

皆さまのご活躍のおかげで、共同行動の輪は着実に広がっています。

来年はさらなる成果をめざしましょう。

どうぞよろしく願い申し上げます。

皆さまお元気で新春をお迎えになられますよう

心よりお祈り申し上げます。



共同行動からのお知らせ

医療安全全国フォーラムの内容をHPにアップしました

11月18日(金)に医療安全全国フォーラムが日本医師会館において開催されました。

■高久史麿共同行動議長より発表された「医療安全全国共同行動(2nd Stage 2011-12)の提案」のスライドと資料をホームページにアップしましたので、ぜひご覧ください。

スライド(14MB) http://kyodokodo.jp/doc/111201_gicyou_houkoku.pdf

資料(12MB) http://kyodokodo.jp/doc/20111209_2nd_stage_teian.pdf

■海外からのビデオメッセージがニコニコ動画からご覧になれます。

・B.ジャーマン卿(英国王立大学名誉教授、前英国医師会長)

「英国の医療安全運動の現在とHSMRの役割」

ニコニコ動画 <http://www.nicovideo.jp/watch/1324003439>

・K.エッシンガー(スウェーデン医療傷害保険公社CEO)

「処罰から改善へ—スウェーデンの政策転換」

ニコニコ動画 <http://www.nicovideo.jp/watch/1324003270>

■上記のほか、現在ホームページより下記の内容がご覧になれます。その他の講演資料やメッセージも順次掲載いたします。

◇開会の辞 高久史麿(医療安全共同行動議長)

◇挨拶 日本医師会会長 原中勝征(代読 常任理事 高杉敬久)

◇パネル討議「医療安全はどこまで進んだか?—医療安全の現在とこれからの課題」

・基調講演 後 信(日本医療機能評価機構医療事故防止事業部長)

「医療事故、ヒヤリ・ハットの情報収集による原因分析、再発防止と無過失補償による紛争解決について」 [講演録](#)、[スライド](#)

・「診療所の安全対策」高杉敬久(日本医師会常任理事) [スライド](#)

・「医療安全の地域連携」神原啓文(静岡県病院協会会長) [スライド](#)

◇9つの目標を達成しよう—対策のコツとチーム・アプローチの勧め

・目標S「安全な手術—WHO指針」西脇公俊(名古屋大学大学院) [スライド](#)

・事例「手術機器の安全使用とその管理」 [スライド](#)

・目標1~8支援チーム [スライド](#)

・目標3b「危険手技の安全な実施—中心静脈カテーテル」 [配布資料](#)

・目標5a「医療機器の安全な操作と管理—輸液ポンプ・シリンジポンプ」 [配布資料](#)

・目標7「事例要因分析から改善へ」 [配布資料](#)

* [公開ページ/トップページ/メニュー](#) → [フォーラム/セミナーの報告](#) → [平成23年11月18日医療安全全国フォーラム](#) からご覧ください。

院内改善取り組み推進の支援を希望する病院を募集します

行動目標7「事例要因分析から改善へ」の支援チームでは、改善活動の取り組みを希望する施設を募集しています。募集案内と申込書をホームページにアップしましたのでご覧ください。

* [公開ページ/トピックス](#) からご覧ください。

第4回「輸液・シリンジポンプ医療安全プログラム」の参加者を募集します

行動目標5a「医療機器の安全な操作と管理—輸液ポンプ・シリンジポンプ」の支援チームが、テルモメディカルプラネックスを利用して、医療安全担当者・輸液ポンプ教育担当者を対象に、医療安全要素を取り入れた指導者向け研修プログラムを2012年2月15日(水)・16日(木)に開催します。

このプログラムの特徴は、精密医療機械である輸液ポンプ・シリンジポンプの安全な使い方を、看護ケアに即したシナリオシミュレーションで学べる内容となっていることです。さらにその教育指導の担い手になっていく人材育成を目的としています(使用した教育教材一式を持ち帰って活用できます)。

* 詳細は http://kyodokodo.jp/event_list.html からご覧ください。

フォーラム・セミナー等のご案内

地域フォーラム

NEW! 平成23年度「医療安全管理シンポジウム」(静岡県中部地区)

日時：2012年1月20日(金) 18:00~20:00

会場：男女共同参画センター「あざれあ」6階大ホール(静岡市駿河区)

テーマ：医療安全全国共同行動・行動目標S「安全な手術—WHO指針の実践」

主催：社団法人静岡県病院協会

* 詳細は http://kyodokodo.jp/event_list.html をご覧ください。

9目標に関連するフォーラム、セミナー、シンポジウム、講習会

第7回日本医学シミュレーション学会(JAMS)総会・併催コース

日程：2012年1月7日(土)、8日(日)、9日(月)

会場：和歌山県立情報交流センター「Big・U」(和歌山県田辺市)

主催：日本医学シミュレーション学会

* 詳細は <http://www.jsdam.com/meeting/jams2012/> をご覧ください。

第2回医療安全管理者養成研修会

日程：2012年1月12日・13日・14日、2月9日・10日・11日

会場：有明フロンティアビル A棟4階会議室(東京都江東区)／予定

備考：研修修了書授与あり

募集は締切られました

主催：医療の質・安全学会

* 詳細は <http://www.procomu.jp/qshseminar/> をご覧ください。

委員会シリーズ 医療安全

[東京] 日時：2012年1月18日(水)

会場：東京研修会場(品川キャナルビル7階)

[京都] 日時：2012年2月22日(水)

会場：京都研修センター(烏丸ビル8階)

主催：日本精神科看護技術協会

* 詳細は日本精神科看護技術協会ホームページ <http://www.jpna.jp/> をご覧ください。

医療安全管理者養成研修会

日時：2012年2月6日(月)~10日(金)

会場：京都研修センター(烏丸ビル8階)

主催：日本精神科看護技術協会

* 詳細は日本精神科看護技術協会ホームページ <http://www.jpna.jp/> をご覧ください。

NEW! 第4回輸液・シリンジポンプ医療安全プログラム(目標5 aに関連)

日程：2012年2月15日(水) 10:00~17:30

2月16日(木) 9:00~15:30 ※2日間セットの研修です

会場：テルモメディカルプラネックス(神奈川県足柄上郡中井町)

対象：医療安全担当者・教育担当者(院内でのポンプ研修の指導に当たる方)

募集人数：12名(各施設1名まで) 定員になり次第締切

監修：武蔵野赤十字病院 杉山良子

主催：テルモ株式会社 後援：医療安全全国共同行動

* 詳細は http://kyodokodo.jp/event_list.html をご覧ください。**弾性ストッキング・コンダクター講習会**(目標2に関連)

〈東京地区〉

日時：2012年2月18日(土) 13:00~17:00

会場：国際医療福祉大学三田病院11階会議室(東京都港区)

主催：日本静脈学会弾性ストッキング養成委員会

* 詳細は <http://www.js-phlebology.org/japanese/sscc/index.html> をご覧ください。**フォーラム・セミナー等のご報告**

平成23年度医療安全管理シンポジウム(静岡県西部地区)が開催されました

事例発表と討論で、参加病院の課題が明らかに

■2011年10月18日(火) 会場：浜松市医師会館 講堂

今回のシンポジウムは、『医療安全全国共同行動・行動目標S「安全な手術—WHO指針の実践」』をテーマとして開催されました。

はじめに、静岡県西部地区の幹事病院である浜松医科大学医学部附属病院、瀧川雅浩病院長の挨拶の後、名古屋大学大学院医学系研究科病態外科学講座心臓外科学の上田裕一教授に「外科医が取り組む手術安全」という演題名で基調講演をしていただきました。「外科医はいろいろなことを考えて手術をしているが、その考えを手術チーム全員に適切に情報を伝えていない場合があり問題となることがある。手術開始直前に手術手順などを確認するブリーフィングを行い、途中で方針変更が必要になった場合は再度協議をし、手術終了後に、行った手術の内容、今後予想される問題点等をディブリーフィングし、チームで情報を共有する必要がある。その他、手術、麻酔の手順が標準化されていないことが手術中の事故の原因の一つ」と話されました。



シンポジウム1つ目の発表は、聖隷浜松病院手術センター長の小久保荘太郎副病院長による「術中の危機的大出血に対する対応システム」で2005~2009年の5年間に大出血となった症例の現状と対策についての報告がありました。「大出血は大病院に多く、大病院は人事異動が激しい。意思疎通およびマニュアルの周知に不断のたゆまない努力が必須である」とのことでした。

シンポジウム2つ目の発表は、聖隷三方原病院手術室の大野修看護係長による「WHO指針に基づいた当院手術部での実際」で、手術安全チェックリストの中より麻酔導入前と患者の手術室退室

前チェックについて聖隷三方原病院の実際と比較した内容の報告がありました。「一部にマニュアルが徹底されていない現状が明確になり、マニュアルの徹底が今後の課題であり、患者の安全を確保するためにもマニュアルの作成・運用だけでなく、定期的な評価・修正をしていくことが重要である」とのことでした。

シンポジウム3つ目の発表は、浜松医科大学医学部附属病院の鈴木明医療安全管理室GRMによる「『WHO手術安全チェックリスト』実施にあたって―当院の現状と課題―」で大学病院の現状と問題点についての報告がありました。「大学病院は、部署間の連携が取りにくく、スタッフの数が多く入れ替わりも激しいという問題があるが、手術安全チェックリストをうまく活用することにより業務を改善していきたい」とのことでした。

全体討論では、浜松医科大学医学部附属病院、今野弘之副病院長を座長として会場の参加者も交えて活発な議論が行われ、手術のさらなる安全性向上が参加各病院共通の課題であることが明らかになりました。

(報告者：浜松医科大学医学部附属病院 医療安全推進係長 佐野 晃二)

* 過去のフォーラムやシンポジウムの報告は、

[公開ページ/トップページ/メニュー](#) → [フォーラム/セミナーの報告](#) からご覧ください。

* 過去のフォーラムやセミナーにて発表された事例は、

[公開ページ/トップページ/メニュー](#) → [パートナーズの活動紹介](#) → [病院の活動紹介](#) からご覧ください。

フォーラム・セミナー等のスケジュール

2012年 1月7日(土)～9日(月)	第7回日本医学シミュレーション学会(JAMS)総会・併催コース
1月12日(木)～14日(土)	第2回医療安全管理者養成研修会(医療の質・安全学会)
1月18日(水)	委員会シリーズ 医療安全(日精看)
1月20日(金)	平成23年度「医療安全管理シンポジウム」(静岡県中部地区)
1月28日(土)	弾性ストッキング・コンダクター講習会(広島地区)
2月6日(月)～10日(金)	医療安全管理者養成研修会(日精看)
2月9日(木)～11日(土)	第2回医療安全管理者養成研修会(医療の質・安全学会)
2月15日(水)～16日(木)	第4回輸液・シリンジポンプ医療安全プログラム
2月18日(土)	弾性ストッキング・コンダクター講習会(東京地区)
2月22日(水)	委員会シリーズ 医療安全(日精看)

★ウェブマガジンは毎月1回、配信いたします。院内にて掲示・回覧・配布等、ご活用ください

医療安全全国共同行動 “いのちをまもるパートナーズ”

ウェブマガジン What's on, Kyodokodo 編集室

E-mail: secretariat@kyodokodo.jp URL: <http://kyodokodo.jp/>